

# 2022年度 アジア学院学生一覧

## 農村指導者研修プログラム(本科生)

コロナ禍を経て、今年度は2年ぶりに海外から多くの学生を迎えることができました。本科生32名、研究生5名が学びに励んでいます。

### グアテマラ

Guatemala



**エステル・ブリット・レイムンドウ**  
Ester Brito Raymundo

グアテマラ福音教会協議会  
Conferencia de Iglesias Evangelicas de Guatemala  
農業プロモーター  
Agricultural Promoter

#### エステル・Ester

私は地域の家族を訪問し、農業や栄養プロジェクトを指導しています。また、野菜やハーブの種や苗を扱う仕事をしています。アジア学院の研修で、有機農業、有機肥料作り、水の効率的なリサイクルなどを実践し、コミュニティの生産物の品質を向上させ、より良い価格で販売できるようにしたいです。



**マルタ・ブリット・ブリット**  
Marta Brito Brito

グアテマラ福音教会協議会  
Conferencia de Iglesias Evangelicas de Guatemala  
農業専門家  
Agriculturist

#### マルティータ・Martita

私は毎日、農場や教会学校で農業指導をしています。農業の仕事とコミュニティは、私の人生にとって不可欠なものです。研修後、ワークショップや畑での共同作業を通して、有機肥料作りや畜産、水の上手な使い方など、豊かな農業を行っていくための技術を教えたいです。

### ルワンダ

Rwanda



**グレース・フラハ**  
Grace Furaha

ルワンダ自由メソジスト教会  
Free Methodist Church Rwanda  
コーディネーター、農業アドバイザー  
Coordinator and Agricultural Advisor

#### グレース・Grace

私は、地域住民が家庭菜園を作り、牛を飼い、貯蓄・信用組合に参加できるような様々なプロジェクトを実施しています。農民の活動を監督しながら、彼らの日常生活について常に情報を集めています。アジア学院では、新しい農業技術を学び、効果的に協力する方法をより多く経験したいと思っています。

### ナイジェリア

Nigeria



**オネカチ・サムエル・アブグ**  
Onyekachi Samuel Abugu

アフリカ教会機構  
Organization of African Instituted Churches  
副牧師、農場補佐  
Associate Pastor, Farm Assistant

#### サムエル・Samuel

私は農村で育ち、現在は教会の農場で小規模農家と一緒に働いています。アジア学院では、低コストで高収量な農法を学びたいと考えています。卒業後は、神学生や地域の農民に、農法や農場の改善、尊厳を持って生計を立てる方法を教えるつもりです。



**アデトウンジ・デービッド・アジャジャ**  
Adetunji David Ajala

ナイジェリアメソジスト教会  
Methodist Church Nigeria  
教区青年会長  
Archdiocesan Youth President, ONE Ambassador

#### デービッド・David

地域社会と連携して、社会福祉問題の解決や人と機会をつなぐことを助け、若者の能力と権利の向上のためのプログラムを企画しています。持続可能な農業とコミュニティへの参加、特に貧困の解消に焦点を当てた活動に関心があります。アジア学院での研修は、食料生産とジェンダー問題に役立つと信じています。

### ベトナム

Vietnam



**ユン・ンゴツ・ヴォ**  
Dung Ngoc Vo

メコン・オーガニック コン・クロンナン農園  
Dung Krong Nang Farm; Mekong Organics  
農民、指導員  
Farmer, Trainer

#### ユン・Dung

若い頃、家族が地域の食料生産を担っているにもかかわらず生活で苦労していることに疑問を持っていました。なぜ安全な作物が大切なのか、他の人にも教えたいです。アジア学院では、農業、教育、知識を広めるためのコミュニティ形成についてもっと学びたいです。ベトナム全土に有機農業を普及させるという夢も持っています。

### バングラデシュ

Bangladesh



**ショット・ムリー**  
Satta Mree

バングラデシュ教会  
Church of Bangladesh  
カテキスト  
Catechist

#### ショット・Satta

私は、教会での教えや農業を通じて、ガロ族のコミュニティに平和をもたらすために活動しています。また、種子銀行プロジェクトを主導し、在来種を各家庭に配布し、種子の保存、輸入種子への依存の軽減化を指導しています。アジア学院では、地域の健康のために有機農業を学ぶことを目標としています。



**ラチンモン・アイザック・ムルイ**  
Hlachingmong Issac Murray

基礎的開発パートナー  
Basic Development Partners  
職業教育マネージャー  
Vocational Education Manager

#### ディコ・Dicko

子どもの教育と女性の能力と権利の向上に力を入れています。主教育から取り残された子どもたちをケアし、技術教育を提供しています。長い間、すべての学齢期の子どもたち、特に女子に初等教育を提供しています。アジア学院では、サーバントリーダーシップ、農業、地域と国のためのスチュワードシップを学びたいです。

## マレーシア

Malaysia



モハド・クザリー・ピン・ハミッド  
Mohd Khuzairi Bin Hamid

SRI ラヴリー複合有機農園  
Sri Lovely Integrated Organic Farm

農場管理者  
Farm Manager

### ジャイ・Jai

コミュニティにとって最も良いことを共有し行うことは私にとって大変重要です。私は田んぼで働き、有機稲作を教え、化学物質を避けることで得られる健康やその他の利点について説明しています。アジア学院では、持続可能な農業、熱帯地域の自然農法、代替マーケティング、サーバントリーダーシップについて学びたいです。

## インド



ゾポヴェル・ロヘ  
Zhopovelu Lohe

グレースホーム・クツクノ  
Grace Home Khutsokhuno

アシスタントディレクター、共同創設者  
Assistant Director and Cofounder

### アポル・Apolu

私たちは、村や教会でサーバントリーダーを育てるために、子どもたちに総合的な教育を行っています。私は24人の子どもたちに読み書きを教え、家庭学習の補助をし、霊的に力づけ、衛生、健康、自然について教えています。アジア学院では農業とリーダーシップについてさらに学び、村人や周辺地域のために役立ちたいです。

## エチオピア

Ethiopia



デガガ・ワクシュマ・ゲレタ  
Degaga Wakshuma Geleta

### デガガ・Degaga

専門学校で建築を学びました。サーバントリーダーシップを学ぶ機会を得たことに、とても感謝しています。アジア学院の研修の3つの主要な目標であるサーバントリーダーシップ、持続可能な農業、コミュニティ形成は、私と私の国にとって鍵となるものです。卒業後、私は人々の成長と発達を促したいと思っています。

## ウガンダ

Uganda



ティモティ・センタム  
Timothy Sentamu

カセンジェ・リバーフォード有機農業センター、  
ガール・ナウ基金  
Kasenge Riverford Organic Agricultural  
Centre LTD, GirlNow Foundation

青年プロジェクト代表  
Chairperson of Youth Project

### ティム・Tim

私はウガンダの社会問題の解決に情熱を注いでいます。若者を農業に引き入れることと、若者と女性に向けた有機農業の訓練に力を入れています。また思春期の少女たちに月経衛生教育や技能向上のための訓練も行っています。アジア学院では、有機農業、サーバントリーダーシップ、コミュニティ開発の知識を深めています。

## インド



ンガムシェル・ロングロ  
Ngamshel Ronglo

弱者のための開発協議会  
Weaker Sections Development Council

コミュニティ調整員、指導員  
Volunteer Community Mobilizer and Trainer

### ンガムシェル・Ngamshel

科学的な方法での作物栽培、ヒラタケ栽培、養鶏のワークショップの補助をしています。また、緊急救援活動の補佐役も担っています。アジア学院では、有機農業を主流化し、農民の生活水準を持続的に向上させる方法を学び、良き指導者となり、自給自足の技術を身につけたいと考えています。



グレザーソン・チェラン・モミン  
Gretherson Cheran Momin

ハーディング神学大学  
ハーディング・ユニバーサル・トラスト  
Harding Theological College,  
Harding Universal Trust

キャンパス管理者  
Campus Supervisor

### グレザー・Grether

グアバやバナナの栽培、鶏や魚、豚の飼育、研修プログラムの調整などを行っています。アジア学院では、将来のガロ族のリーダーを育成するために、より効果的な教育やリーダーシップを学びたいです。また、多様なコミュニティの中で信仰と宗教、文化への理解を深め、礼拝の持ち方を向上させたいと考えています。



デミセ・ソロモン・デュフェラ  
Demissie Solomon Dufera

### ソロモン・Solomon

大学で農業を学びました。アジア学院では、持続可能な農業とコミュニティ形成を学びたいです。私は、コミュニティが持続可能な生活と心の健康を維持する方法を学ぶ手助けをしたいと考えており、そのためにエチオピアの農業部門で働きたいです。それが、気候変動や貧困の削減に貢献する方法だと思うからです。

## ケニア



ホッサ・カミス・ジェフワ  
Hossa Khamis Jefwa

参加型開発研修所  
Institute of Participatory Development

コミュニティ調整員  
Community Coordinator

### ホッサ・Hossa

イスラム教徒の女性として、あらゆる宗教の女性グループや青年グループと一緒に活動しています。女性に対して、リーダーシップ、土地の所有権と相続、女子教育、農産物の価値向上に関する能力と権利の向上を行っています。農作物を増産するための土壌改良技術とリーダーシップを学び、コミュニティに役立てたいです。

India



カンナン・ラヴィチャンドラン  
Kannan Ravichandran

スリステイ基金  
Sristi Foundation

農業指導員  
Farm Trainer

### カンナン・Kannan

私の所属している団体では、障がいのある子どもや大人に教育や農業を中心とした生活技能訓練を行っています。私は9エーカーの複合訓練農場の管理を手伝い、地域住民に有機農業について教えています。アジア学院では、指導力と有機農業の知識を高めたいと考えています。

India



ルンガイトユイ・マラングメイ  
Lungai Lungai

チントウ基金、ロンメイ・バプテスト協会  
Chingthur Foundation, Rongmei Baptist  
Church Association

プロジェクト管理者  
Project Manager

### ルンガイ・Lungai

私は東北インドのいくつかのコミュニティで、農作物の増産、キノコ栽培の指導、収穫した農作物や手工芸品の市場開拓を支援しています。有機農業、畜産、養蜂について学ぶためにアジア学院に入学しました。帰国後は、新しい実験農場を始める予定です。

## ガーナ

Ghana



アレックス・クワムラ・アフエリ  
Alex Kwamla Afeli

アソグリ・ステート議会  
Asogli State Council

教師、技術アドバイザー  
Teacher, Volunteer Technical Advisor

### アレックス・Alex

周りの人が経済的に豊かになれば、安心して眠れるようになります。私は家畜を生産し、肥料として糞尿を使い、農業や化学肥料を使わずに野菜を育てながら若者を訓練しています。私はアジア学院の技術を他の農家に伝え、失業中の若者に持続可能な農業を教える農業センターの設立に協力したいです。

## ケニア

Kenya



ジャクリーン・アンヤンゴ・オワング  
Jacklyne Anyango Owang

ノミヤ聖啓示教会  
Nomiya Holy Revelation Church

女性農業プロジェクトチームリーダー  
Team Leader, Women Farming Project

### ジャッキー・Jacky

有機農業、魚の養殖、養鶏を行っています。私たちの目標は、コミュニティを食料生産において貧困から自立へと導き、コミュニティにおける男女平等を実現することです。アジア学院の研修後、私は指導員として、実践なしで行われる理論よりも効果的に農民を指導できるようになるでしょう。



**ベルマン・マエダ・シトゥモラン**  
Berman Maeda Situmorang

インドネシアプロテスタント教会  
Gereja Kristen Protestan Indonesia (GKPI)  
牧師  
Pastor

## マエダ・Maeda

私の教会の信徒は農民や織物職人が多く、信徒たちの農場をよりよく発展させるために意見交換をしています。教会と信徒が本当に良い関係で互いに助け合えるよう、教会が提供できる解決策を考えています。農村の生活を改善する方法を世界中の人々から学び、それを教会のリーダーや農村に共有したいです。



**タビタ・プリシラ・ラハワリン**  
Tabita Pricillia Rahawarin

アブディ・プサカ・インドネシア基金  
Abdi Pusaka Indonesia Foundation  
圃場管理者、宣教師  
Field Manager, Missionary Staff

## タビタ・Tabita

私たちの団体は、孤児院から始まり、学校を開設してきました。私は、子どもたちの日々の霊的・身体的な成長を指導・監督しています。私は農場でのリーダーシップについて、また、農村の子どもたち、そして地域全体にプラスの影響を与えるような成果を生み出すにはどうしたらよいかをもっと学びたいと思っています。



**ディアン・クリスタ・シテプ**  
Dian Krista Sitepu

カロ・バタック・プロテスタント教会  
Gereja Batak Karo Protestant Church GBKP  
牧師  
Pastor

## ディアン・Dian

信徒たちの霊的ニーズ、生活上のニーズを満たすために必要なことを支援したいです。アジア学院では、リーダーシップや時間管理技術を向上させ、実践的なスキルを身につけたいと考えています。農民たちは、有機農業は簡単ではないと考えているので、私は人、土、環境を健康に保つ方法を教えたいと思います。

## インドネシア



**ムンティラン・ハシホラン・ナババン**  
Muntilan Hasiholan Nababan

ペトラサ基金  
Petrasa Foundation  
マーケティング・開発代表  
Marketing and Development Head

## ムンティラン・Muntilan

私は、仲間の農家と協力して、効率的な有機農業による畜産を実践しています。アジア学院では、教える技術を向上させたいと考えていますが、真の知識は健全な人間関係なしには伝わらないことを実感しています。ですから、全く異なる背景を持つ人々との絆を深める方法を学びたいと思っています。



**アデ・プジ・ハルタティ**  
Ade Puji Hartati

ピドー社  
PIDO Company  
コミュニティ開発スタッフ、データ管理者  
Community Development Field Staff & Data Administration

## アデ・Ade

私は、ココナッツやアレカヤシで砂糖を作る農民と一緒に働いており、品質管理、有機認証の取得をサポートしています。農民を化学農業から有機栽培に変えていくことが課題です。アジア学院の多様な文化の中で、持続可能な有機農業の学びを深めることに情熱を持っています。



**ヤン・ペトリック・ラジャグクグク**  
Yan Petric Rajagukguk

バタック・プロテスタント教会  
Huria Kristen Batak Protestant, HKBP  
青年会長、メディア技術者  
Youth Chairman and Media Tech

## ペトリック・Petric

農家の栽培と販売における問題解決を支援しています。また、IT の知識を活かして、若い農家とコミュニケーションをとりながら、オンラインの解説ビデオで有機農業を広めたり、市場を見つけて分析したりもしています。アジア学院では、有機農業と畜産の技術を強化し、サーバントリーダーシップを深く学んでいきたいです。

## コンゴ民主共和国



**モルデカイ・ミリンディ・ジョナス**  
Mordekay Mirindi Jonas

平和・紛争解決基金  
Peace and Conflict Resolution Foundation  
農村経済専門家  
Rural Field Economist

## モルデカイ・Mordekay

若者を集め、農民と共にプログラムを企画し、種を配り、畑と一緒に働いています。コミュニティの会合や研修のファシリテーターも務めています。深刻な食料不足が起きているので、アジア学院ではリーダーシップを身につけ、他者から学び、自分の経験を他者と共有し、フードライフについて学びたいです。



**シュクル・ムニグワ・セラフィン**  
Shukuru Munigwa Seraphin

中央アフリカペンテコステ教会コミュニティフヌ・ヌル  
Community of Pentecostal Churches in Central Africa, Funu Nuru  
青年向け農業指導員  
Agricultural Commission for Youth Development

## シュクル・Shukuru

農場の管理、若い農家への助言、安全性や効率、生産性を向上させるためのプロジェクトの企画などが日々の仕事です。私たちの青年グループは、鶏の増産や、豆栽培と豚の肥育プログラムを統合したプロジェクトを行っています。アジア学院では、有機農業、畜産、リーダーシップに関する知識を増やしたいです。



**古条 知也**  
Tomoya Furujō

## トモヤ・Tomoya

大学では農業や国際協力分野、環境分野について学びました。大学卒業後 1 年間の病氣療養中に自分を顧みて、改めて国際協力分野と環境分野で学び挑戦したいと考えて入学を決めました。アジア学院で有機農業などの知識を深め挑戦していく中で、持続可能な社会の実現や国際協力分野において私が行う取り組みを見つけます。

## 日本



**須田 愛結**  
Ayu Suda

## アユ・Ayu

大学では国際関係学、教育学を学びました。コロナ禍で自分と深く向き合い、これからの人生を豊かに生きる事について考える中でアジア学院と出会いました。有機農業・畜産の技術的な学び、コミュニティでの生活、仲間との深い対話を通して、人と自然がバランスよく共生するために何ができるのかを考えていきたいです。



**中島のぞみ**  
Nozomi Nakashima

## ノゾミ・Nozomi

高校卒業後に留学を予定していましたが、アジア学院での短期滞在を経験し、違いを受け入れ合う環境に魅力を感じました。将来は、自給自足の農的な暮らしを通して社会に貢献していきたいです。多様な国籍・価値観・宗教の人々と「共に生きる」ことで生き方のヒントを得ながら、自分にできることは何かを考えていきたいです。



**得丸 拓海**  
Takumi Tokumaru

## タクミ・Takumi

本をきっかけにアジア学院を知りました。貧しい人や助けを必要としている人に「上から」何かをするのではなく、彼らが真に自立して歩んでいけるように「一緒に」何かをしていくリーダーシップに感動しました。私はサーバントリーダーシップ、食といのちが深く関わっているということを知りたいと思っています。

# (研究科生)

研究科生は学院を卒業後 5 年以上自国で働いている卒業生の中から選ばれます。学院において自分の専門分野の研修を行うと同時に、**トレーニングアシスタント (TA)** として学生の研修を助けます。

日本人卒業生は、特定の一分野に焦点を当てて、その分野のより深い理解と幅広い経験を培うために、卒業の次年度に研究科の**卒業生インターン (GE)** に応募できます。



## 日本



岡田 英里  
Eri Okada

エリ・Eri (2021 年卒)

私は、共に問題を解決し、相互の成長を促すことで、真の意味での国際協力のあり方を学びたいと思っています。国際協力には、サーバントリーダーシップと持続可能な農業が不可欠だと考えます。そのため特に米作りを通して共に働くことについて学び、卒業生の難民支援 NGO でインターンをしたいです。

## 農村指導者研修プログラム

Rural Leaders Training Program

アジア学院は草の根のコミュニティで働く「農村指導者」のための効果的な指導者研修プログラムを提供しています。

仕える指導者

共同体構築

持続可能な農業

## インドネシア

Indonesia



マーガレット・マルタ・ロイダ・シアニパール  
Margareth Marta Roida Sianipar

バタック・プロテスタント教会 エリム孤児院  
Elim Orphanage, Huria Kristen Batak Protestan

牧師、孤児院スタッフ  
Pastor, Orphanage Staff

マルタ・Marta (2012 年卒)

アジア学院卒業後、有機農業を教えながら小さな有機レストランを経営していました。現在、寮母として子どもたちの世話をする中で、彼らがよく勉強し、夢を持ち、祈り、教育を続けられるよう励ましています。私は、より良いサーバントリーダーになるためにアジア学院に戻ってきました。

## ネパール

Nepal



ビム・バハドゥール・カリン・ライ  
Bhim Bahadur Khaling Rai

全国開発機構  
National Development Organization

牧師、教師、共同体生活管理者  
Pastor, Teacher, Community Life Manager

ビム・Bhim (2015 年卒)

私は、宗教・言語・文化的に異なるコミュニティが協力し合うために、サーバントリーダーシップをもって人々を指導し、化学農法の危険性を教えています。コミュニティの人々がサーバントリーダーシップの力を理解するのに数年かかりました。アジア学院の中心的価値観の学びを深め、農民同士の結びつきを強めることを目指します。



加藤 圭介  
Keisuke Katô

ケイスケ・Keisuke (2021 年卒)

昨年、私はなぜ有機農業を実践する必要があるのかを学びました。それは、健康な食のためであり、生物多様性のある豊かな自然に囲まれ、共に働くことで健康な人間関係を築くためです。修了後は、JICA 海外協力隊に参加し、教育機会がない環境で教育分野の実践的な経験を積みたいと考えています。



小松原 啓加  
Hiroka Komatsubara

ヒロカ・Hiroka (2020 年卒)

海外からの学生と共に生活する中で、どんなに違いがあっても私たちは同じ人間だということを強く実感しました。人との出会いや繋がりを大切にしたい思いから、今年度は研究科生として地域に向けた事業を学んでいます。アジア学院内外のより多くの人と関わり、居場所や思い出をつくるお手伝いが出来たら嬉しいです。



卒業生たちは、世界で最も貧しく取り残された共同体が自分たちの食料、土地、コミュニティなどの資源を最大限に活用し、分かち合い、喜びを持って生きていけるよう自立への手助けをします。



毎年、アジア、アフリカ、中南米や太平洋諸国の団体から農村指導者を栃木県那須塩原市のキャンパスに招いています。9 か月の研修プログラムは「共に生きるために」という学院の掲げるモットーに導かれて実施されます。

1973年の創立以来、卒業生の数は61カ国から1,368名

ご支援  
ください!

みなさまの開発途上国に対する思いをアジア学院に託してください

### >> 郵便振替

振込口座：郵便振替 00340-8-8758  
口座名義：学校法人 アジア学院  
お名前、電話番号、郵便番号、住所をご記入ください。

### >> ゆうちょ銀行

記号：10700 番号：8002711  
口座名義：学校法人アジア学院

### >> 足利銀行

支店名： 西那須野支店  
口座番号：(普通預金)112403  
口座名義：学校法人 アジア学院

### クレジットカード・その他

ご寄付については：  
[www.ari-edu.org/donate/](http://www.ari-edu.org/donate/)

## 学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校  
〒329-2703  
栃木県那須塩原市槻沢 442-1

Tel 0287-36-3111  
Fax 0287-37-5833

[info@ari-edu.org](mailto:info@ari-edu.org)  
[www.ari-edu.org](http://www.ari-edu.org)